

2022 年度 立正大学日本語プログラム・セメスターコース 留意事項

【2022 年 4 月現在】

立正大学国際交流センター

1. 日本語プログラムの実施について

- ・原則対面実施とし、開講までに入国の目処が立った場合のみ、本プログラムを開講いたします。海外へのオンライン配信はありません。実施・中止の判断は、2022 年 7 月頃に行う予定です。ご理解の程、宜しくお願い申し上げます。

2. 新型コロナウイルス感染症関係について

【入国前後】

- ・日本への入国において、PCR 検査結果等の証明書の提出が必須の場合、検査費用等につきましては学生の自己負担となります。
- ・来日後、PCR 検査の実施ならびに結果を待つため、空港近辺の宿泊施設に滞在する場合、宿泊費用は学生の自己負担となります。
- ・日本への入国前に、留学期間ならびに新型コロナウイルス感染症に対応した海外旅行保険に必ず自国で加入してください。本学より、来日前に保険の加入証明書の提出を求めることもあります。
- ・ワクチン接種の有無が、入国や隔離期間に影響を及ぼす可能性があります。

【隔離期間と宿泊施設】

- ・秋学期の開始（2022 年 9 月）時点においても、法律等により、来日後の自主隔離と公共交通機関の不使用が要請されている可能性があります。
- ・自主隔離が必須の場合、隔離期間中は学生寮（ユニデンス）の短期宿泊所に滞在が可能です。この宿泊費用は、学生寮（ユニデンス）の居室使用料とは別に徴収され、学生の自己負担となります。
- ・自主隔離の期間中は、本学の職員が食料・日用品等の調達補助を行います。その費用については、学生の自己負担となります。また、使用できるネット回線は本学にて事前に準備する予定ですが、インターネット代につきましても学生の自己負担となります。
- ・公共交通機関の不使用が要請される場合、空港から学生寮（ユニデンス）の移動手段については、本学より日本語プログラム生同士の乗合のチャーターバスを用意する予定です。ただし、本学のチャーターバスに乗車できない日程に来日した場合、学生自身が自己負担で新型コロナウイルス感染症対策を行っているハイヤー等をレンタルする必要があります。

3. 学生寮（ユニデンス）について

- ・学生寮（ユニデンス）が耐震工事等のため、日本人学生も抽選で限られた学生しか入居できない状況です。現在、特に男子フロアは満室状態のため、受入定員を 8 名（男子 2 名、女子 6 名）までとし、応募者が定員を超える場合は書類選考を行います。なお、学生寮（ユニデンス）は耐震工事等のため、男女同一の建物を利用しますが、フロアごとで男女分かれた運用になる予定です。

4. 授業関係について

- ・日本語ならびに日本事情の授業は、日本国際教育支援協会の日本語能力試験（JLPT）レベル N1 取得を目標とする 1 クラスを開講予定です。
- ・現段階では、可能な限り対面授業を実施いたします。ただし、今後の新型コロナウイルス感染症の状況によっては、日本に入国後でも、学期の途中でオンライン授業に変更になる可能性があります。
- ・例年行っている課外授業や課外活動等は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止や変更になる可能性があります。

5. アルバイトについて

- ・新型コロナウイルス感染症の状況次第で、学生のアルバイトを禁止します。

以上